

科目ナンバリング	U-SCI00 33413 LJ58				
授業科目名 <英訳>	固体地球物理学A Solid Earth Geophysics A	担当者所属・ 職名・氏名	理学研究科 教授 理学研究科 教授	久家 慶子 大倉 敬宏	
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	金3	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
科目番号	3413				
[授業の概要・目的]					
固体地球物理学のいずれの分野（地震学、熱学、測地学、活構造学）を専門にする学生にとっても、知っていることが望ましい地震波動、地震の特性、火山に特有な地震や地殻変動の基礎を学ぶ。					
[到達目標]					
地震波動の伝播、地震の震源の特性、火山性地震・地殻変動のメカニズムに関する基本的な性質を理解する。					
[授業計画と内容]					
以下の各項目について論述する。【】に記した週数をあてる予定だが、進度や受講生の理解の状況等に応じて、講義担当者が適切に変更する。					
<ol style="list-style-type: none"> 1．地震波動を使う利点（久家）【1週】 2．波動方程式とP波・S波（久家）【2週】 3．層構造を伝播するP波・S波（久家）【2週】 4．表面波（久家）【2週】 5．地震の震源の特性（久家）【2週】 6．地震波動場の数値計算（久家）【1週】 7．地震波動および火山の観測（大倉）【1週】 8．火山における地殻変動（大倉）【1～2週】 9．火山で観測される地震（大倉）【1～2週】 					
[履修要件]					
必須ではないが、「地球連続体力学」（科目番号2404）、「弾性体力学」（科目番号3401）を履修していることが望ましい。					
[成績評価の方法・観点]					
学期中にだすレポート（80点）および平常点（20点）により評価する。					
[教科書]					
使用しない 講義資料を配布する。					
----- 固体地球物理学A(2)へ続く -----					

固体地球物理学A(2)

[参考書等]

(参考書)

Peter Shearer, " Introduction to Seismology Second Edition ", Cambridge University Press

Peter Shearer, " Introduction to Seismology Third Edition ", Cambridge University Press

長谷川昭・佐藤春夫・西村太志、「地震学」、共立出版

鍵山恒臣 編、「マグマダイナミクスと火山噴火」、朝倉書店

[授業外学修（予習・復習）等]

必要に応じて、授業で適宜指示する。

(その他（オフィスアワー等）)

オフィスアワーは特に設けないが、授業終了後に質問を受け付ける。質問等に関する連絡先は、各講義担当者の初回の授業で連絡する。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。